



NICU人材養成プログラムに参加して

男女共同参画

東京女子医科大学
母子総合医療センター

新生児部門 首里 京子



NICU専門研修を目指した理由



「やりがいのある仕事がしたいなら、
子供にかかわる仕事をしないさい。
だけど、ちょっとしんどいけどね。」

東京女子医科大学 母子総合医療センター
名誉教授 仁志田博司 先生



プログラム参加のきっかけ

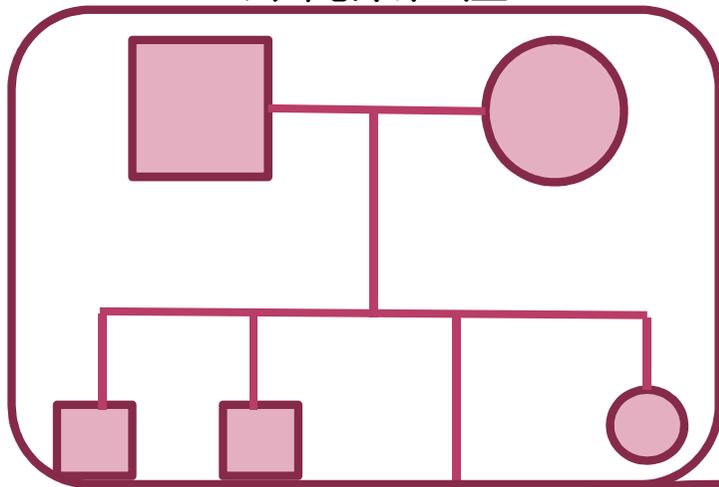
- ◎ 小さな子どもを連れていても、NICU専門研修ができる
- ◎ 個人個人に合わせた、Flexibleな働き方を選択できる（当直の優遇）
- ◎ 子供の発熱などの「万が一」の時にも、対応してもらえる
- ◎ 子供がだいぶお熱を出さなくなった（入院しなくなった）こと
- ◎ 母校であったこと
- ◎ 夫の応援がもらえたこと



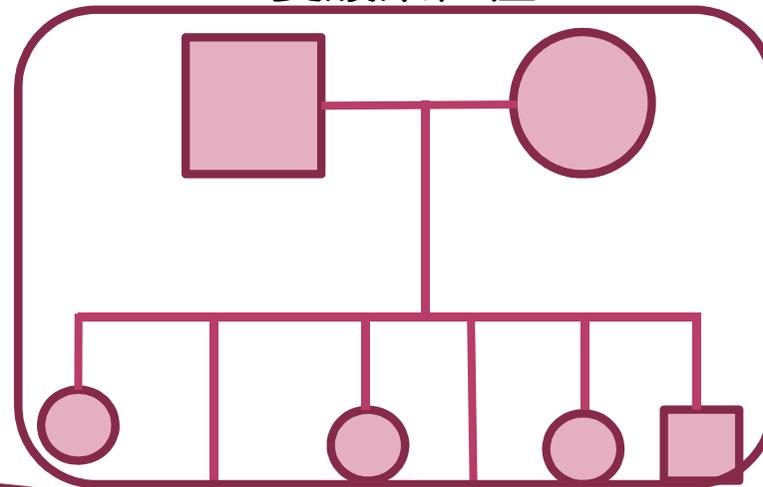
「成功の反対は失敗ではない。
成功の反対は何もしないこと。」

家族背景

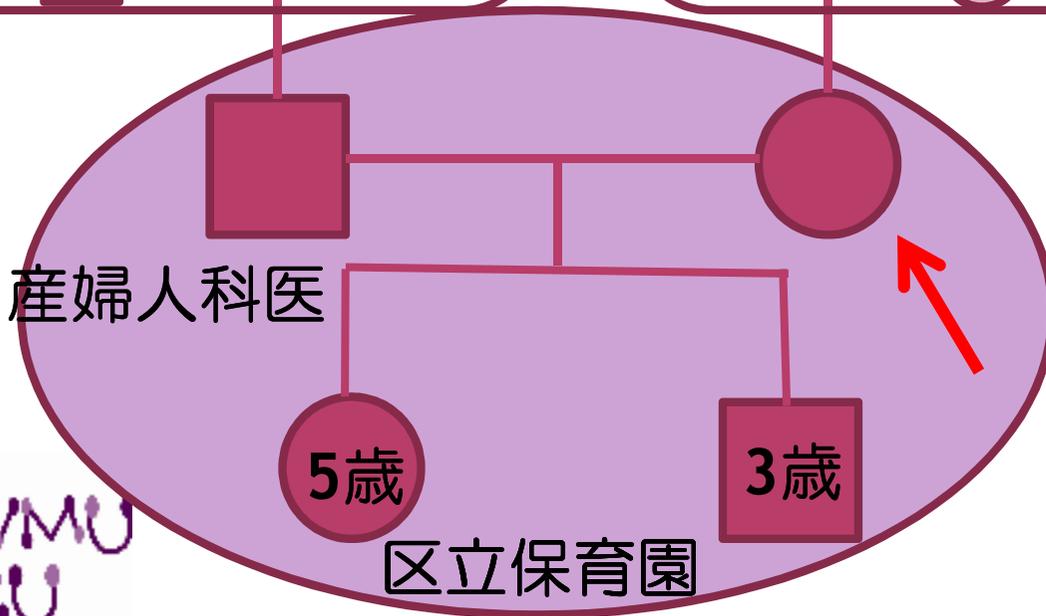
沖縄県在住



愛媛県在住



産婦人科医



区立保育園



プログラム参加の私なりの条件

- ◎ 子供が病気の際は、早退・遅刻・休暇が可能
- ◎ 日曜日は完全にOFF
- ◎ 当直は平日の月4回

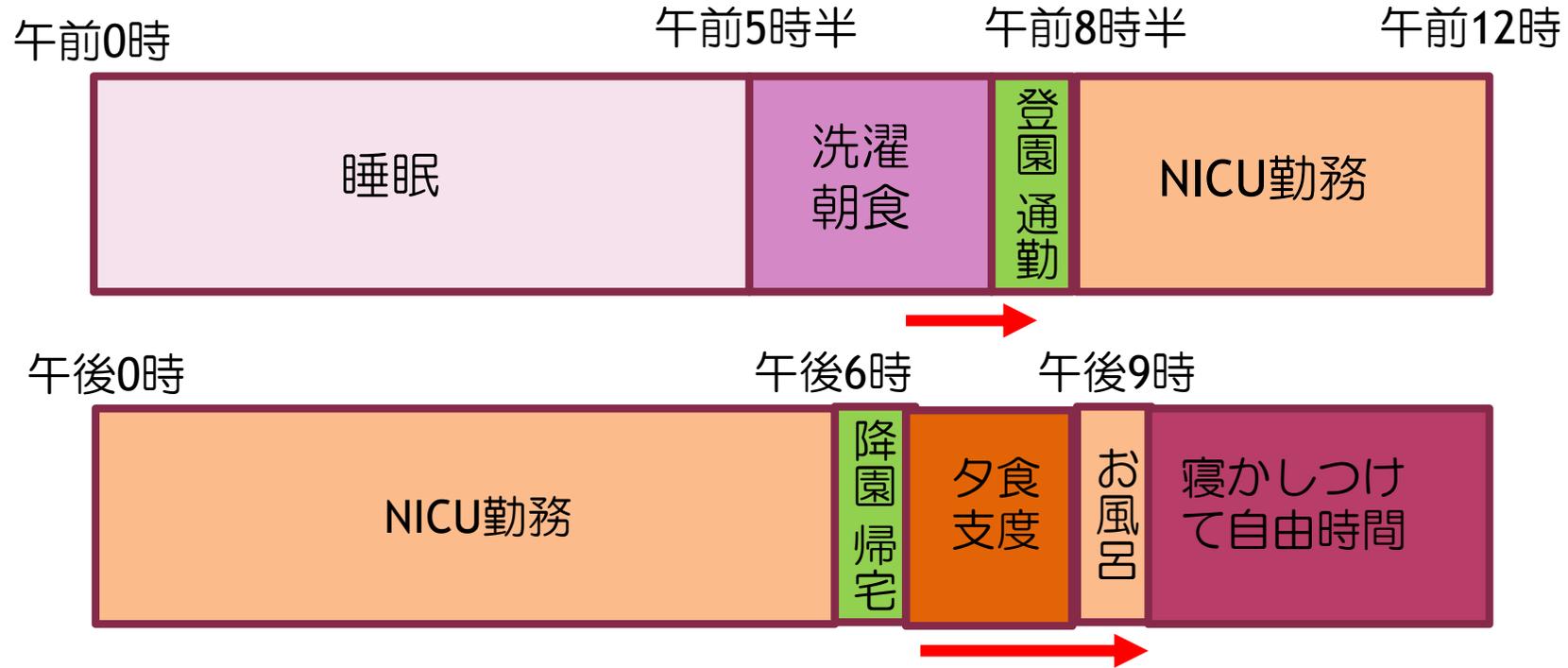


プログラム参加にあたって、 変わらなければならなかったこと

- ◎ 祖父母のサポートが得られなくなる
- ◎ 沖縄からの引っ越し
- ◎ 給料が下がる
- ◎ 夫の負担の増大（当直）
- ◎ 子供の負担の増大？



私の一日の流れ



プログラムに参加して良かったこと

- ◎ NICUで集中的に研修ができています
- ◎ 国内外の学会発表への挑戦、教育セミナーへの参加を積極的にサポートしてくれる
- ◎ 子供の発熱などの「万が一」の時にも、対応してもらえる
- ◎ 病児保育の利用

未来ある赤ちゃんに、毎日接していけること



プログラム参加して、良くなかったこと (家族)

- ◎ 子供と過ごす時間が減った。
- ◎ 子供が、「ママ、今日、当直？」というフレーズを言うようになった。
- ◎ 子供がよく「抱っこ、抱っこ！」と甘えるようになった。

考え方、とらえかたを変えれば.....



プログラム参加して、良かったこと (家族)

- ◎ 母親業、医師業、（主婦業）と、時間を有効に使えるようになった。
- ◎ 子供という時間を大事にするようになった。
- ◎ 当直の時、夫は子供の面倒をみるようになった。
（お迎え、夕飯、お風呂、朝食、登園）
- ◎ 「ママはね、赤ちゃんのお医者さん」と理解するようになった。
- ◎ 「大きくなったらお医者さんになる！」
と言った。

これから大事にしていききたいこと

家族・仕事・自分・人生

どれも大事！
順番なんて決める必要はない。



私たちの目標

こんな大人になりたい、ママみたいになりたい！と
夢を持たせられる親でありたい

完璧な親なんていない
完璧な子育てなんてない
完璧なしつけなんてない
出来ないときは、できる人に頼ろう



子供を育てながら
キラキラ輝いて働けますように・・・

